

令和4年度 五條市コミュニティ・スクールにかかるアンケート結果

令和5年3月実施

Ⅰ 回答者数、回答率、回答者の所属、回答者の年齢層について

回答者数・回答率	地域住民	教職員	合計	回答率
	26名	17名	43名	61%

所属 (重複有り)	1 地域住民	2 PTA・保護者	3 元教職員	4 元PTA・保護者	5 教職員
	18名	5名	3名	6名	17名
	6 学校評議員	7 スクールサポート ボランティア	8 地域 コーディネーター	9 その他	
	6名	2名	4名	4名 民生児童委員、民生委員、中学校運営委員	

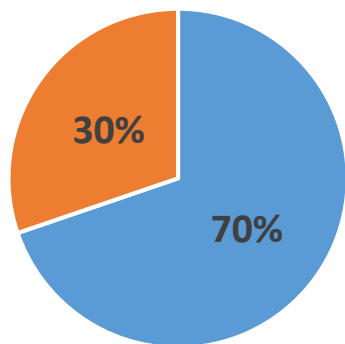
回答者の 年齢層	39歳以下	40代	50代	60代	70代
	2名	6名	18名	10名	7名

2 学校運営協議会で協議された内容について

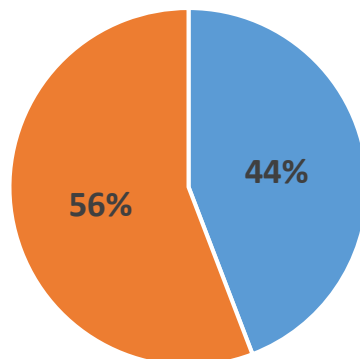
■ 協議した

■ 協議していない

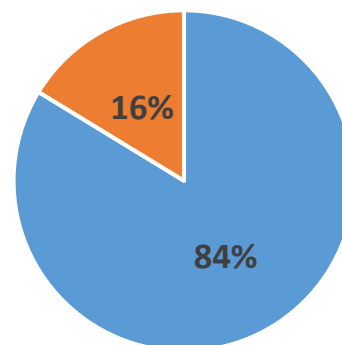
教育課程について



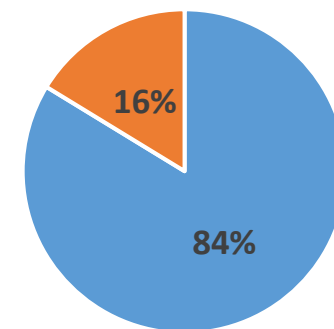
ボランティア活動について



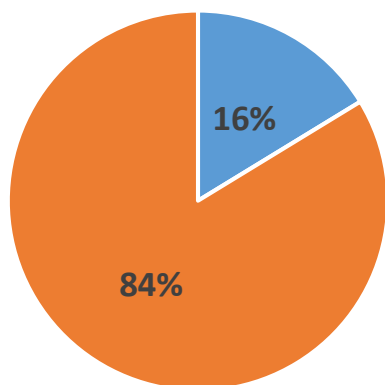
学校行事について



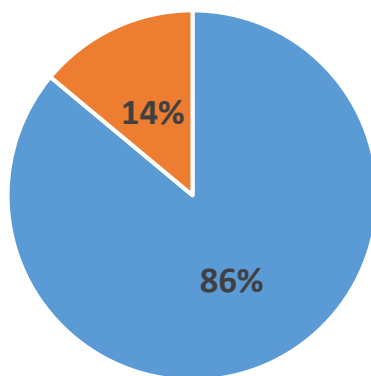
学校の年間目標について



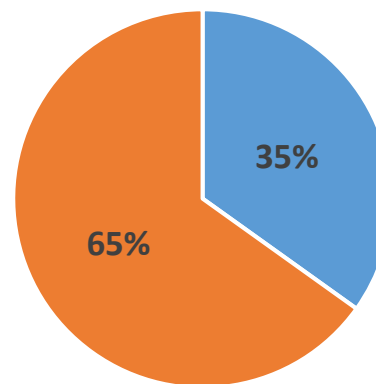
学校施設の整備について



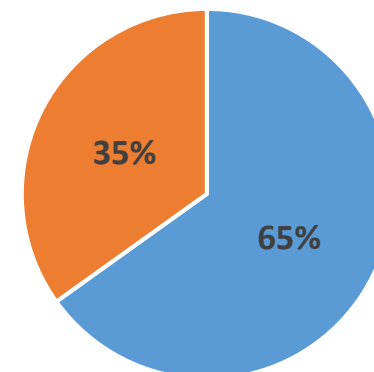
学校評価について



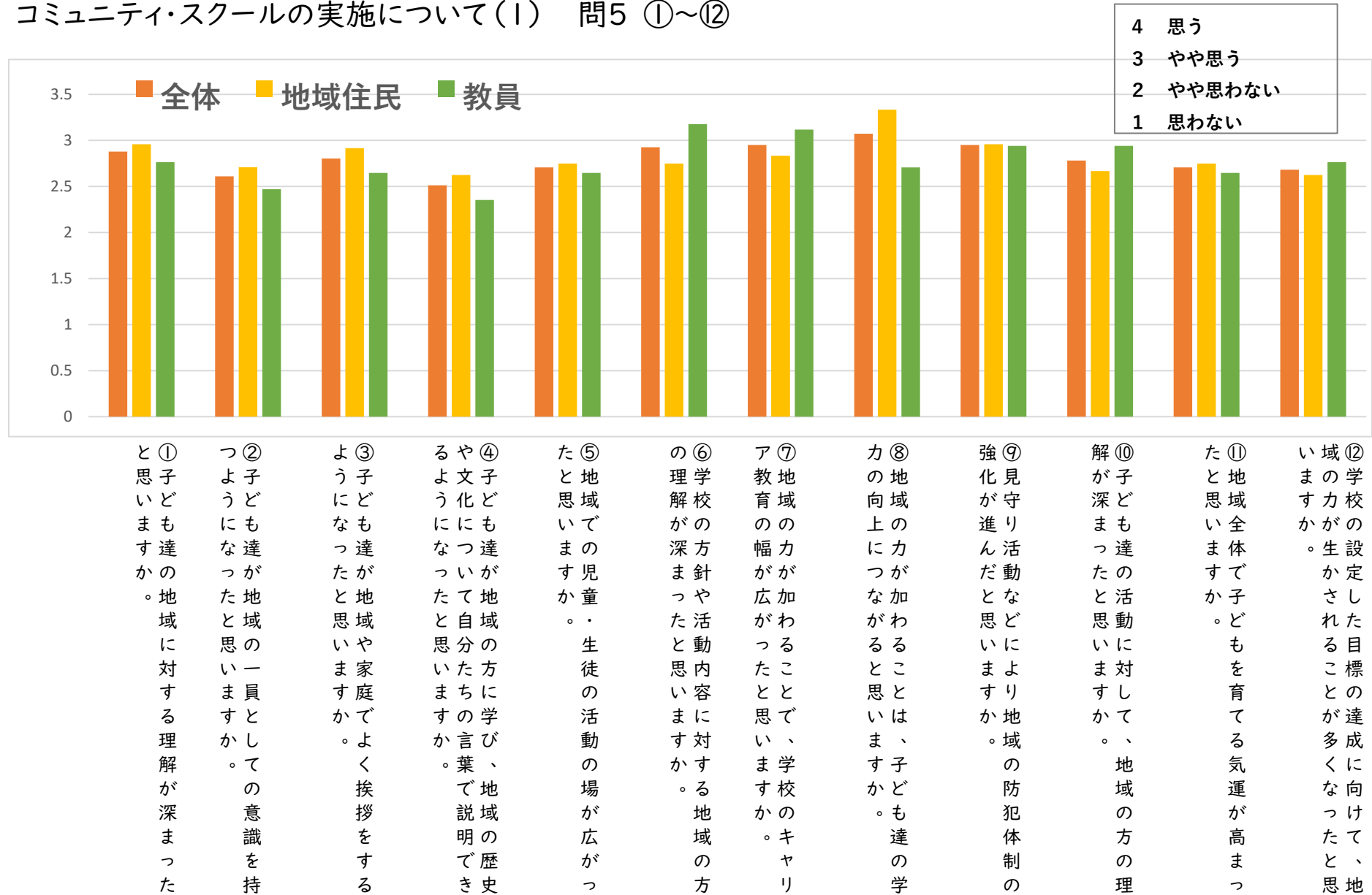
地域人材の活用について



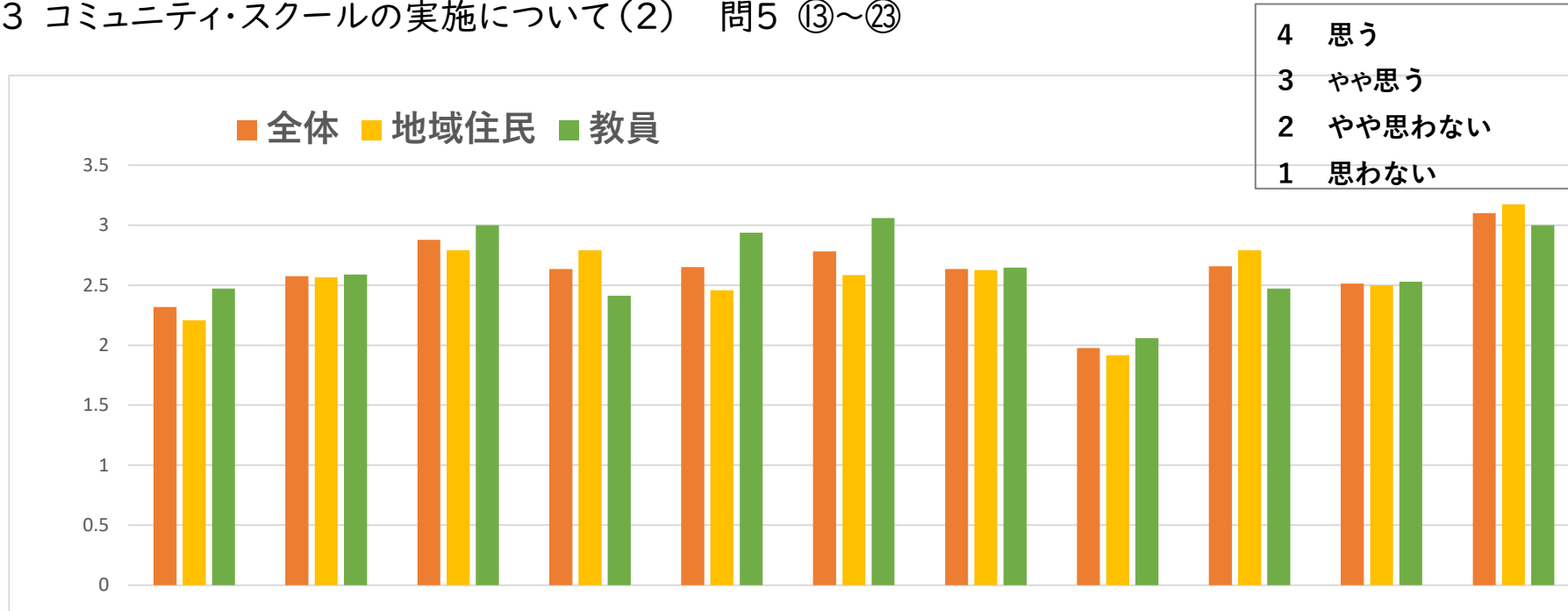
児童・生徒について



3 コミュニティ・スクールの実施について(1) 問5 ①~⑫



3 コミュニティ・スクールの実施について(2) 問5 ⑬~⑳



4 思う
3 やや思う
2 やや思わない
1 思わない

⑬ 多くの保護者や地域の方等に
見交わすことができますか。
なりましたか。

⑭ 保護者同士や地域の人の
関係づくりにつながっている
間係りますか。

⑮ 学校と地域コミュニティとの
携が深まったと思いますか。
連

⑯ 地域のネットワークの形成に役
立っていると思いますか。

⑰ 学校が教育活動や子ども様
を地域に知らせる機会が多くな
たかと思えますか。

⑱ 保護者や地域の方の意見が学校
運営に反映されるようになった
かと思えますか。

⑲ コミュニティ・スクールの取組
が教員、地域、保護者に理解さ
れていると思いますか。

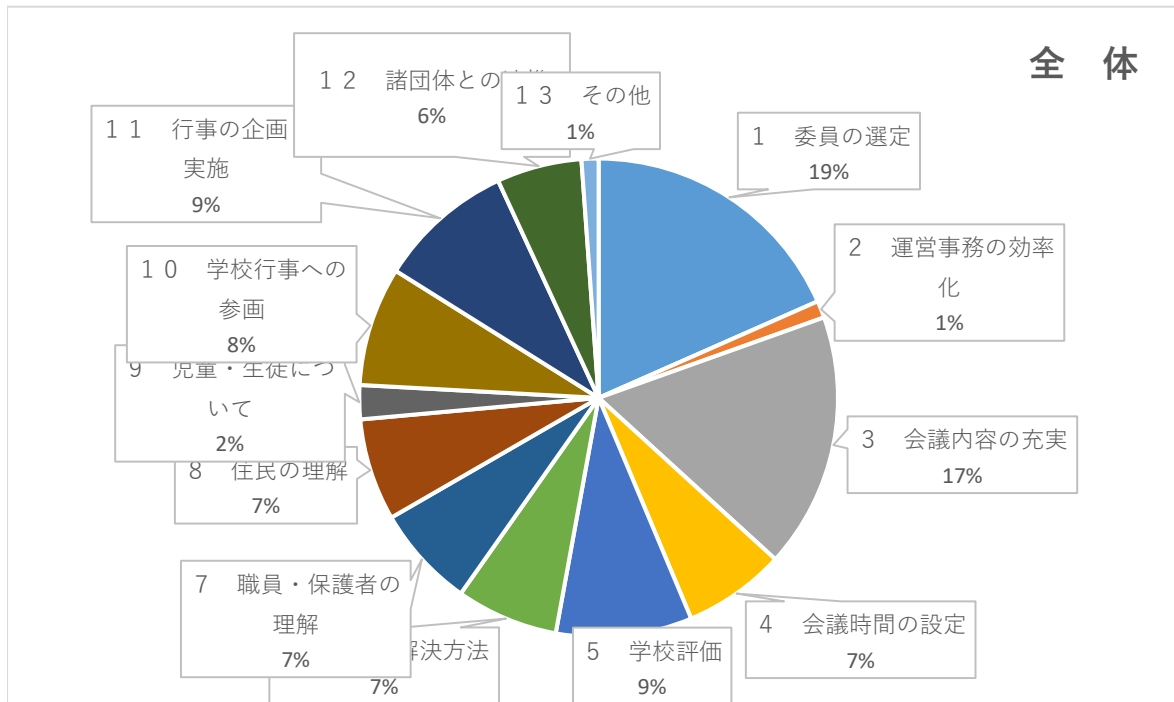
⑳ 学校運営協議会委員の仕事内容
について負担に感じますか。

㉑ 貴校の学校運営協議会では熟議
が進んでいると思いますか。

㉒ コミュニティ・スクールの取組に
ついて、地域や保護者への情報提供
が十分に なされていると思いま
すか。

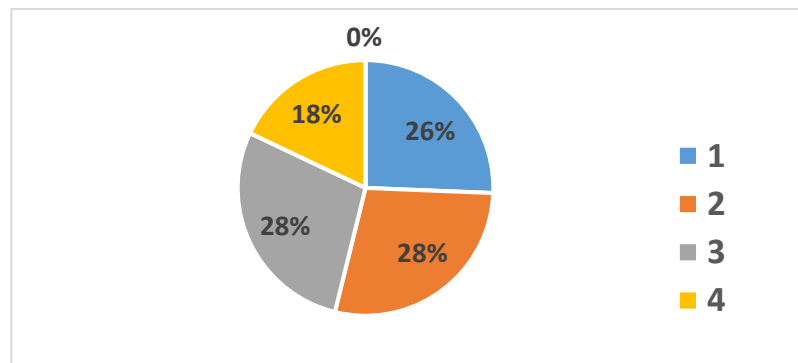
㉓ 貴校では地域学校協働活動が推
進されていると思えますか。(見
守り・ふるさと学習等)

4 学校運営協議会の運営上で課題と思われること(3項目まで選択)



課題	全体	地域住民	教職員
1 委員の選定	16	8	8
2 運営事務の効率化	1	1	0
3 会議内容の充実	15	8	7
4 会議時間の設定	6	3	3
5 学校評価	8	8	0
6 課題の解決方法	6	3	3
7 職員・保護者の理解	6	4	2
8 住民の理解	6	5	1
9 児童・生徒について	2	2	0
10 学校行事への参画	7	3	4
11 行事の企画・実施	8	4	4
12 諸団体との連携	5	3	2
13 その他	1	1	0

4 学校運営協議会の研修会について、希望される内容について



	研修の内容	人数
1	コミュニティ・スクールの目的と取組内容について	10
2	学校運営協議会の役割と熟議の進め方について	11
3	地域学校協働活動（ボランティア活動等）との連携について	11
4	行事の企画・実施について	7
5	その他	0

5 学校運営協議会委員として、学校と地域が協働で実施することで、連携が推進されると思う活動について

清掃活動	○校区の清掃活動等の奉仕活動(3人) ○クリーン活動(自治会)
防犯・防災	○防災訓練(6人) ○見守り(防犯)活動 ○学校・家庭・地域との合同防災訓練
学習支援	○ふるさと学習(2人) ○キャリア教育 ○放課後学習支援
体験活動	○農業体験 ○花の植え付け ○昔遊び集会
地域行事等への参加	○地域のお祭り ○地域の美化活動 ○地元の農家さんとの交流
その他	○地元の高校と小中との交流 ○地域ボランティア活動の推進 ○学校行事への協力

6 今後の学校運営協議会の運営及びコミュニティスクールの推進について(ご意見)

- ・この数年間現状維持で運営協議会、コミュニティスクールの推進がされていないと思う。コロナが収束したら内容充実に向けて委員間での話し合いの回数を増やしていきたいと思う。
- ・会議を土日か平日の夜に開催してもいいと思う。平日仕事をしているものが参加しにくい。
- ・C・Sのチェックシートと学校運営協議会の運営内容が不一致なので改善を望む。
- ・学校運営協議会と学校評議委員会は目的が違うので開催日を別にして実施することを望む。
- ・統合で大きな地域になるのでメンバー編成が大変。
- ・統合後のPTAのコミュニケーション。
- ・コロナの影響もあると思うが活動もなく会の存在の意義自体が不明。
- ・小中一貫教育が進み学園となったことで、運営協議会も一本化する方向でどうかと思う。
- ・学校統合により来年度以降どういう体制をとっていくのかが大きな課題であると感じます。
- ・コロナ禍の影響が大きかったが、今後は学校の目標達成に向けて地域の力が活かされるように熟議を重ねていく。
- ・学校運営協議会委員にコーディネーターに入ってもらえればと思うが、地域の中心となるコーディネーターが見つけれないことと、ボランティアの確保が課題である。
- ・コーディネーターを担う地域人材の不足。
- ・今後も小学校とのつながりを大切にしていきたいと思います。
- ・学校側として参加しているが、1年間活動を行う中で、情報等の発信が弱かったと思う。学校がどのようなことで困っているのか、どのような協力が必要なのかをもっと発信して積極的に協力を求め地域の方に参画いただくようにしていきたい。また、地域のことをよく知れるように、地域の方との触れ合う場の設定が必要だと思う。
- ・委員の選定に苦勞する。あまり負担が多いと協力いただけない。
- ・当該協議会の存在やその意義、活動状況等、保護者、地域の住民などに広く周知させることが必要(認識が薄いと思われる)

7 コロナ禍の中でのコミュニティ・スクールや地域学校協働活動の運営に就いての課題について(ご意見)

- ・コロナ禍で中々学校行事に参加できず、様子がわかりにくい、今後はコロナが5類のあつかいになるので、子ども達の様子を見る機会が増えると思う。
- ・学校が私たちに求めていることがわかりにくい。どんな形で参画していくのがいいか明確になると活動しやすいと思う。
- ・年間活動があってもよいのではないか。少子化で地域に子どもがいなくて活動がしにくい。
- ・コロナの状況が少しずつ落ち着いてくる中、本年度はいくつかの行事を再開させることができました。ただ、数年のブランクがあったため、地域の方々への協力をお願いや継続的なボランティアの確保が難しくなった様に感じます。
- ・コロナ禍での行事が戻ってくると思うのでより良い物にアップデートしていく。
- ・地域と子ども達の交流がほとんどなかったため、地域の福祉施設の交流をどこまで戻せるかを検討する。
- ・5類になりボランティアや地域の方々との交流を通常に戻せることを期待しています。一旦ストップしてしまった活動等をスムーズに元に戻すにはなかなかハードルは高いと思うが、そこを乗り越えて活動を再開してもらいたいです。
- ・熟議の場をとることができなかった。今後は話し合いの機会を増やし、充実した活動になるようにしたい
- ・学校のことを知っていただくために学校行事等に招待いただいていたが、その機会がコロナ禍のために減ってしまった。今後、一度途切れた流れを再構築しなければならない。
- ・活動自粛が続き、これまで通りの活動ができていない。

8 アンケート結果より(考察)

- 令和4年度はコロナも徐々に落ち着きを見せ始め、昨年度、開催を自粛していた協議会も各校で開催されるようになった。協議内容については、学校が示す、教育課程、教育目標、学校評価については、熱心に協議されているが、ボランティア活動や地域人材の活用等については割合が低く、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動との一体的な推進については、今後さらに充実した取り組みが必要である。
- 子どもたちの地域への理解や意識については否定的な回答があり、地域人材を活用した体験活動や地域の伝統行事や地域教材から学ぶふるさと学習の計画的な取り組みが地域を大切に思う子どもたちの育成につながる。
- 運営上の課題については、委員の選出、協議内容の充実について割合が多かった。子どもたちや地域が抱える課題を共有し、子どもたちにつけたい力や地域コミュニティの活性化に向けた目標を協議を重ねて共有化できるよう、効果的な熟議の場の設定が求められている。
- コミュニティ・スクールの取り組みの情報発信については回答やご意見などからも課題であることがわかる。コミュニティ・スクールのさらなる推進の為にも、子どもたちの成長や地域の活性化につながるその効果を地域の方に認識してもらう必要があり、積極的な情報発信が求められる。